



<連載⑧4>

クルーズフェリー飛龍への期待



大阪府立大学海洋システム工学科助教授

池田良穂

4月中旬 の日曜日、久しぶりに三菱重工業の下関造船所での進水式に出席させていただいた。船は1万総トン型の沖縄航路のカーフェリー「クルーズフェリー飛龍」。船主は沖縄を本拠地とする有村産業で、船舶整備公団との共有船である。

この「飛龍」という船名は筆者にとって特別の重みを持っている。まず、まだ大学の船舶工学科の学生だった頃、同船が沖縄航路に華々しくデビューしたのをよく憶えている。復帰を果たし海洋博覧会が開催される沖縄への航路は、新造船ブームに沸いていたが、その中でも飛び切り的高速優秀船として同船は姿を現わした。航海速度26ノットを誇り、それまで大阪～沖縄間は2泊3日だったのを1泊2日で結ぶようになった。造船関係の雑誌にも、同船の開発エピソードが紹介され、胸をワクワクさせて読んだのが懐かしい。

「さんふらわあ11」の船上で結婚式を挙げたあと、数隻のカーフェリーに乗り継ぐという新婚旅行をしたが、その最後に大阪に戻る「とり」の船には、この「飛龍」を選んだ。その後、妻の実家が沖縄なこともあって「飛龍」には何回か乗船したが、オイルショックによる燃料費の高騰に耐え切れずについに売却され、大阪～上海航路の「がん真」として活躍することとなった。この国際航路

に就航した後、一度だけ同船での航海を楽しんだ。

さて、話を新しい「飛龍」に戻そう。3月のある日、同社の有村副社長から進水式の招待を受けた。数年前に企画したバルト海のクルーズフェリー視察旅行に同氏は参加されていたのでよく知った仲であった。進水式も日曜日とのことなのでスケジュールにも問題なく、ぜひとも参列させてもらうこととした。

せっかく下関に行くのに新幹線も味気ないと思いき、金曜日の深夜に大阪南港からダイヤモンドフェリーの「クイーンダイヤモンド」に飛び乗った。阪神大震災以来、九州への出張などにはいつもフェリーを使っているが、どういう訳か毎回のようにこの船にあたる。

翌朝、大分から列車で門司港までで、関門海峡を船でわたって下関に入った。前夜祭に出席させて頂き、久しぶりに有村会長や副社長にもお会いし、「クルーズフェリー飛龍」のコンセプトなども軽快な音楽に合せたスライドの映写で見せてもらった。オイルショック以来、沖縄航路の船は代替があまり進まずに、他のフェリー航路に比べるとやや質の落ちる船が多かっただけに、楽しみな内容の船に仕上りそうな説明で期待が持てる。



進水式

クルーズフェリー「飛龍」

この席上で、やはり久しぶりに船舶整備公団の宮本理事長にもお会いできた。4~5年前に、日本のクルーズ産業をいかに育てるかを議論した委員会で何度も顔を合せていたので、すぐにクルーズの話題に花が咲いた。

きっとこのクルーズフェリー「飛龍」も日本のクルーズ市場の拡大に大いに活躍してくれるに違いない。いやそうならねばならない。若い人への船旅アンケートでは、沖縄航路が一番人気だったと記憶している。潜在ポテンシャルは十分にある航路なのだ。いつのまにか、そんな結論に達していた。

さて、翌朝、バスで造船所に向かう。船台の上には巨大な白い船体が静かに海に下りる瞬間を待っている。いよいよ進水式が始まり、宮本理事長が命名すると「クルーズフェリー飛龍」という文字を覆っていた布があがる。この時、船名自体に「クルーズフェリー」という文字が付いているのを知った。クルーズフェリーに対する思い入れの結果なのであろう。今まで「フェリー」という頭文字を持つカーフェリーは多いが、「クルーズフェリー」というのは初めてであろう。

進水準備は着々と進み、すべてが整ったことが

報告されると、いよいよ支網切断。沖縄の民俗衣裳に身を包んだ会長のお孫さんが一刀のもとに支網を切るや、船首でシャンパンが割れ、船は静かに動き始める。まさに感動の一瞬である。船は次第にスピードを上げ、船尾が海に入っていく、次第に水平に水面に浮ぶ。船尾は右にどんどん曲っていく。ちょうど西向きの潮流があるからだ。船首からスピードを落とすためのチェーンが落とされ、大きなしぶきを上げる。ここでやっと我にかえる。この短い時間の間も造船所の人々は緊張の連続なのであろうが、見学させてもらう側にとっては何度見ても感動ものだ。先代の「飛龍」は並列2本煙突だったが、今度の「クルーズフェリー飛龍」はどっしりとした1本煙突である。やはりこの方が客船らしくてよい。

進水式の後のパーティでは、筆者の大学の卒業生が日曜日にもかかわらず何人か出席してくれており、ひさしぶりの再会に話が弾んだ。素晴らしい船を設計し、建造してくれたことに感謝。

「クルーズフェリー飛龍」は7月には完成し、大阪~沖縄~名古屋の航路にお目見えすることになっている。完成したら、ぜひとも乗ってみたいと思っている。